

2023 年度 第 4 回兵庫県審判トレセン 報告

日 時	2023 年 9 月 3 日 (日) 13 : 00 ~ 19 : 00
場 所	いぶきの森球技場
参加者	小椋博文、藤原悠人
スタッフ	浦元雄一郎
インストラクター	橋本滋、中村正光
内 容	試合分析、振り返り

報 告

後期の審査対象試合を月末に控えるため、自分が今できることを全力で発揮することを伝えた。ゲームコントロール、走力はもちろんだがまずは正確な判定、納得がいく判定をしてほしいということ伝えて試合に挑んでもらった。



<試合分析、振り返り>

試合後に小椋氏には橋本インストラクター、藤原氏には中村インストラクターから振り返りをして頂いた。こちらからは小椋氏は淡々とした印象があり、自分がどうやってゲームをコントロールしていくのかを強く出してほしいと伝えた。ファウルで笛を吹くとき、警告を示すとき、負傷者へ対応するとき。一つ一つの事象に対して自分の想いを競技者やチームに伝えられるようにしてほしい。藤原氏は正しく事象を見極めるために主審としてどうしなければいけないのかという話をした。先入観や思い込みでの判定があり、事象を正しく見極めできないため警告が出せない状況があった。

本日の試合で出たそれぞれの課題に向き合って、月末の審査対象試合に向けて頑張してほしい。

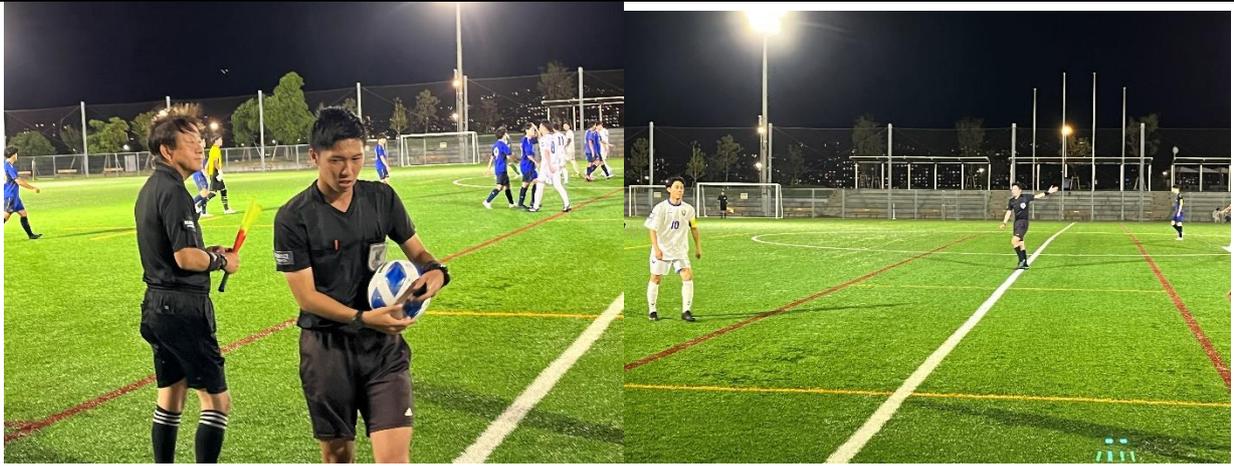
2023 年度 第 5 回兵庫県審判トレセン 報告

日 時	2023 年 9 月 17 日 (日) 14 : 30 ~ 21 : 30
場 所	西宮浜総合公園 人工芝グラウンド
参加者	藤原悠人、小山龍之介
スタッフ	浦元雄一郎
インストラクター	納利之
内 容	試合分析、振り返り

報 告

1 週間後に審査対象試合を控える中、2 人とも初めての兵庫県社会人リーグ 1 部の試合の主審を担当してもらった。今までに担当した主審割当の中でも最もゲームコントロールが難しい割当だと思うが審査に向けてしっかりとチャレンジしてほしいと伝えて試合に挑んでもらった。





<試合分析、振り返り>

試合後に納インストラクターから2人に振り返りをして頂いた。こちらからは藤原氏は前回のトレセン時にあった先入観や思い込みでの判定はなくなっていたのは良かった。しかし試合前からの主審としての準備、試合への入り方、立ち上がりの判定基準についての話をした。また、後半の入り方は非常に良かったので、そのパフォーマンスを1試合通じてできるようにと伝えた。ただ、動きの量、質ともにもっと上げていかなければ審査は厳しいということも伝えた。小山氏は動きの量は非常に魅力的だった。判定もある程度一貫して納得いくものであった。しかし、DFがボールをプレーした後にOFが遅れてチャレンジして接触するプレーが多く、警告も出してはいるが競技者、チームがやめずに試合が進んでいった。正しい判定+次どうすれば警告に値するプレーをしないようにマネージメントできるかが課題となった。

本日の試合で出たそれぞれの課題に向き合って、次週からの審査対象試合に向けて頑張ってもらいたい。

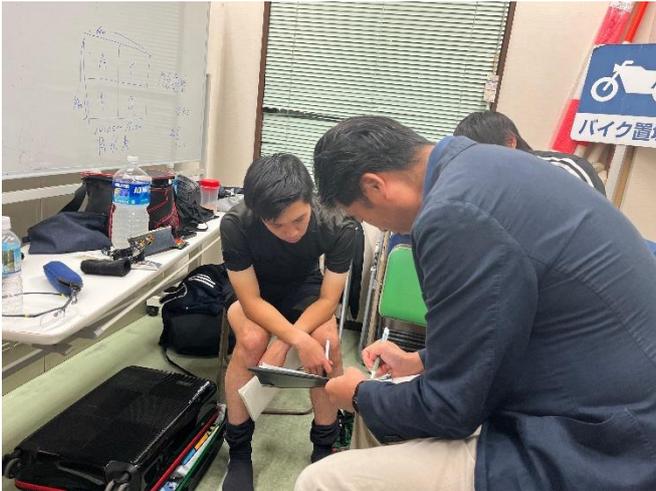
2023 年度 第 6 回兵庫県審判トレセン 報告

日 時	2023 年 10 月 1 日 (日) 16 : 00 ~ 21 : 00、10 月 15 日 (日) 16 : 00 ~ 21 : 00
場 所	西宮浜総合公園 人工芝グラウンド
参加者	小椋博文、小山龍之介
スタッフ	浦元雄一郎
インストラクター	佐野茂、中村正光
内 容	試合分析、振り返り

報 告

2人の10月の活動可能日が合うことがなかった為、1人ずつ別日で開催した。2人とも審査対象試合1試合目を終えて悪くない評価だった。10月に2試合、11月に1試合の残りの試合も安定したレフェリングができるようにレポートでインストラクターの方に指導された点を確認、意識して兵庫県社会人リーグ2部の試合に挑んでもらった。





<試合分析、振り返り>

試合後に小椋氏は佐野インストラクターから、小山氏は中村インストラクターに振り返りをして頂いた。こちらからは小椋氏は繰り返し反則を行う競技者に対してのマネージメント、試合を通じての判定の基準をどうやって競技者、チームに伝えていくのかという話を撮影した映像を見ながら確認していった。小山氏は試合の最初のファウル、それもボールにチャレンジする意図のないプレーに対してどうコントロールするのか。また、ホールディングに対する認識の甘さを撮影した映像を見て確認した。

また、本日の試合で出たそれぞれの新たな課題に向き合って、1試合1試合を大切に成長して行ってほしい。